

平成24年度HEMS利用の価値向上のための
調査事業について

①本事業の位置付け

※環境省の家庭部門を対象とした対策に限定して記載

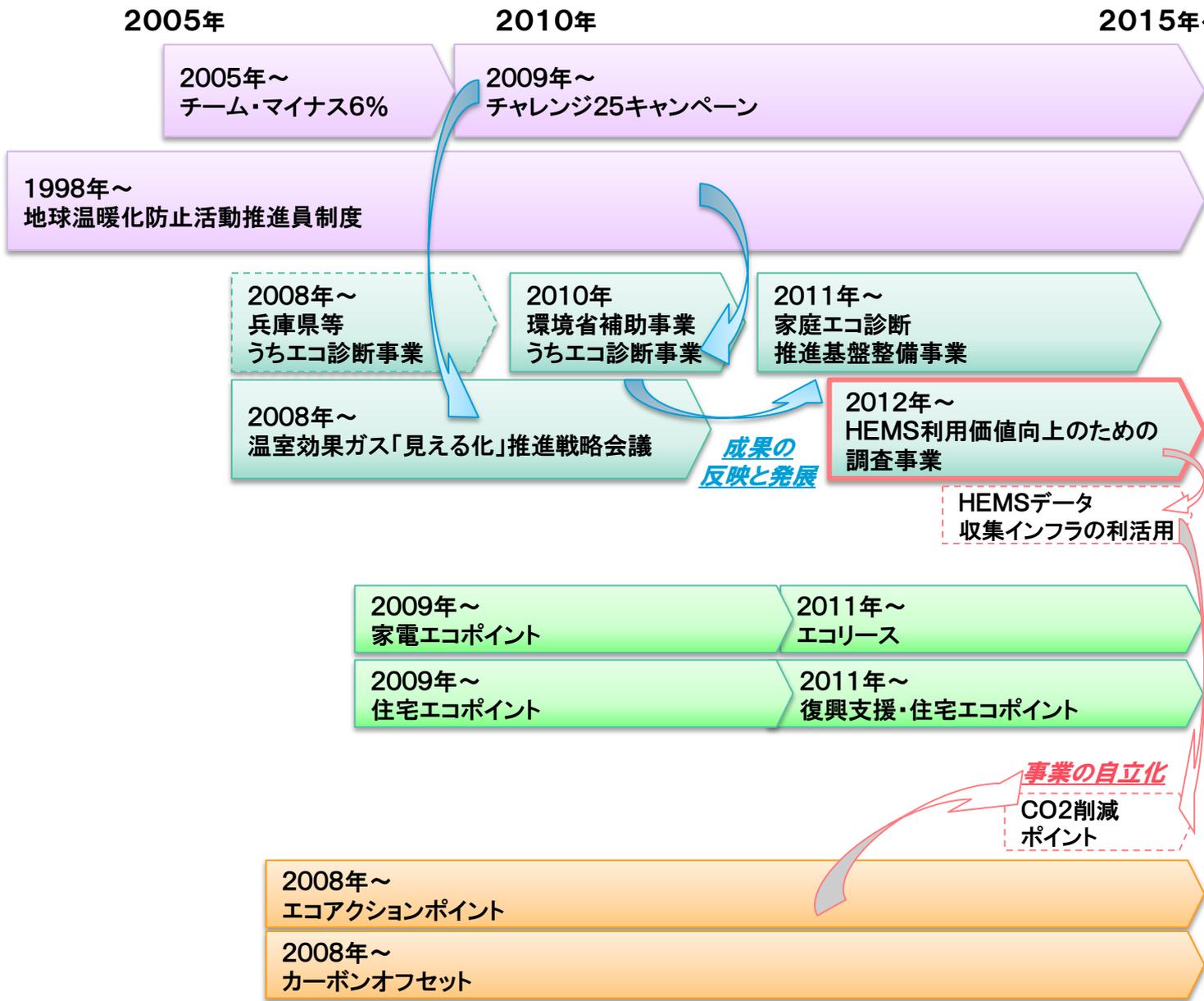
----- 将来的な実現を目指した事業

I
低炭素社会
づくりへの
意識醸成

II
適切なGHG
排出削減行動
へのアドバイス

III
GHG排出削減
行動への支援

IV
排出削減をした
個人が報われる
社会づくり



低炭素なライフスタイルの定着

②事業の背景

- CO2排出量・エネルギー使用量を「見える化」することで5～10%の削減効果があるとされており、家庭の「見える化」を担うHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)の役割は重要。
- 「見える化」型HEMSは、家庭への魅力不足とイニシャルコスト高により普及が進んでおらず、普及を促進し、低炭素なライフスタイルへの転換を図るためには、HEMS利用に様々なメリットを付加し、家庭の導入モチベーションを上げることが必要。

HEMSに関する主な課題

HEMS導入サイド(家庭)の課題

普及が進んでいない

継続利用されていない

HEMS情報活用サイド(事業者)の課題

データが有効利用されていない

【課題解決のアプローチ(案)】

○家庭におけるHEMS利用のメリット増大 ⇒ 普及促進、継続利用促進へ

◆データに基づく効果的な削減アドバイス

◆削減努力とその継続性を評価する仕組み(インセンティブの提供)

○事業者によるHEMSデータ利用のメリット増大 ⇒ インセンティブの原資、新サービスの源

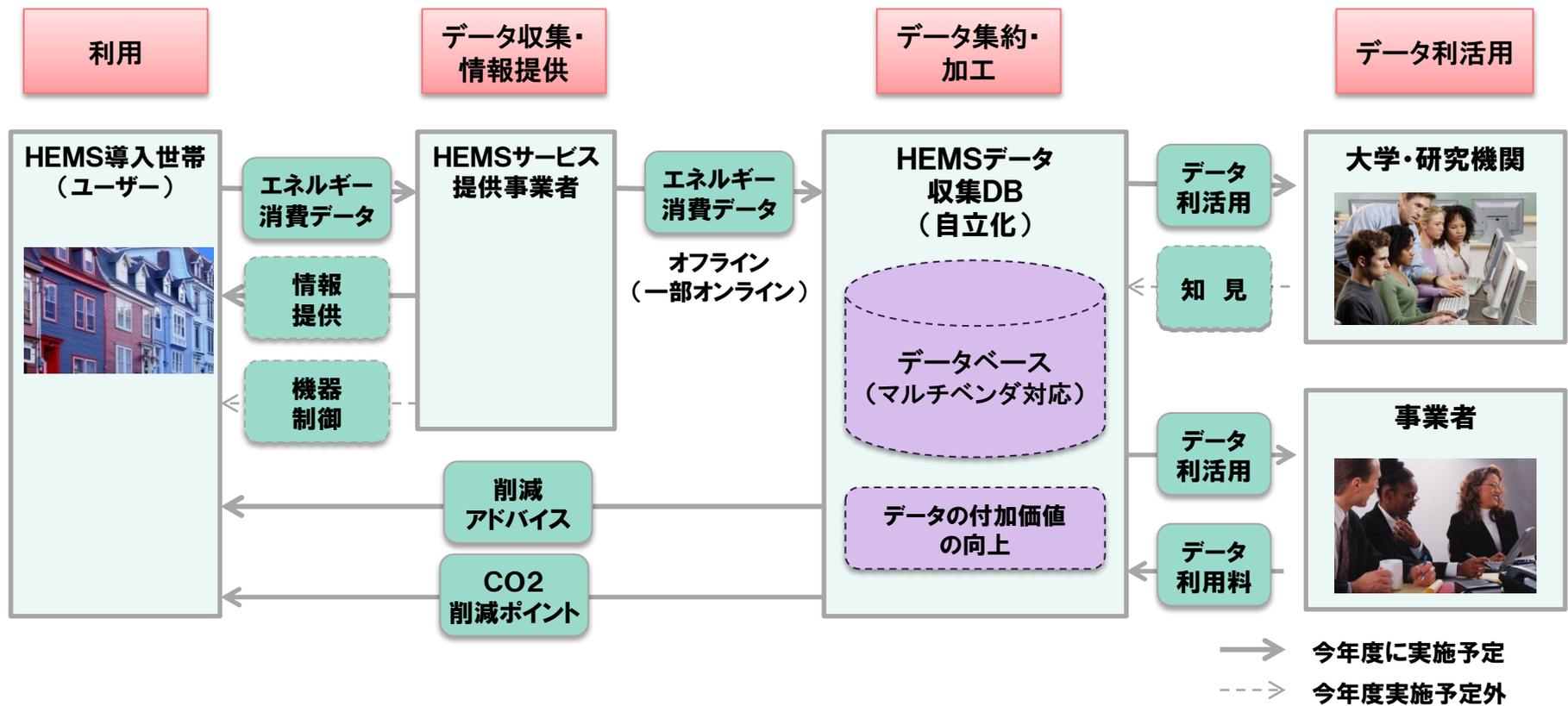
◆事業者の垣根を越えて収集された大量データの利活用(データベース構築)

◆エネルギー情報に属性や行動様式等を加えたライフログの利活用

③事業が目指す姿

○本事業の最終的な目的は、既存のHEMS設置世帯の大量のデータを基に企業から出資を募り、CO2削減の継続的なインセンティブを設ける自立的な資金メカニズムのシステムモデルの早期構築を行い、家庭における低炭素なライフスタイルの変革・定着を促すため、そのライフスタイルを評価し、インセンティブを与える仕組みを設けること。

想定する仕組み



④事業概要

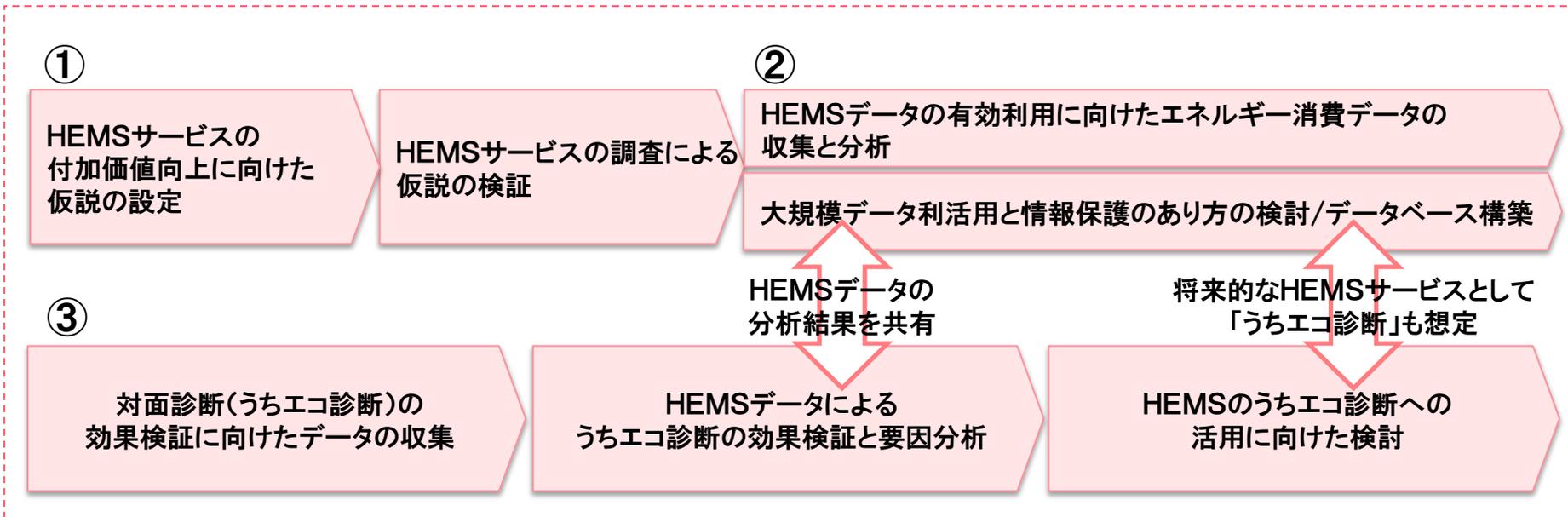
○本事業においては、

- ①HEMSサービスの付加価値向上に向けた調査
- ②HEMSデータの有効利用に向けたデータの収集・分析、データ利用方法の検討
- ③対面診断におけるHEMSデータの有効活用(対面診断の効果検証)

を行う。

○これらの検討を並行して推進するとともに、必要に応じて実施結果を連携することとする。

課題に対するアプローチ



⑤事業スケジュール（案）

実施項目		2012年					2013年		
テーマ	項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①HEMS利用の付加価値向上に資する仕組みの構築のための調査	HEMSサービスの付加価値向上に向けた仮説の設定		HEMS現状調査						
			仮説設定						
	HEMSサービスの調査による仮説の検証		ユーザー・事業者へのヒアリング			仮説検証			
②HEMS利用によるエネルギー消費データの分析	HEMSデータの有効利用に向けたエネルギー消費データの分析	HEMSデータの収集							
			分析計画の策定	HEMSデータの分析					
	大規模データ利活用と情報保護のあり方の検討 / データベース構築			データベース構築			課題整理		
			ガイドライン作成	WG		オンライン連携テスト	WG		
③対面診断の効果検証	データの収集		HEMSデータの収集						
	効果検証/要因分析		モニター募集	診断実施	HEMSデータおよびアンケートデータの分析				
	HEMSの活用検討				WEB診断の有効性の検証				
検討会の実施			①		②		③		④

WG ワーキンググループの開催